



今回は経口2剤のお話をします。これまでのインターフェロンを中心とした治療は、H7Aといつて宿主に対して作用する薬剤でした。宿主であるヒトの体に作用してHCVを排除しようとする薬剤ですので、どうしても副作用がありました。発熱が90%以上の人に出現していました。その他に食欲不振などを伴う状態の出現、脱毛、間質性肺炎などが認められていました。一方、昨年9月に発売された薬剤はDAAといつて直接ウイルスに作用する薬剤です。プロテアーゼ

経口2剤について

C型慢性肝炎は、日本に190万〜230万人存在しています。この他にも潜在的には80万人存在すると言われています。最近、テレビのCMなどでさかんにC型慢性肝炎の治療のことが言われていますので、ご覧になった方もいらっしゃると思います。1992年からインターフェロン治療がはじまり、20年以上投与が続けられてきました。昨年9月以降、インターフェロンなし（インターフェロンフリー）で済むようになり、これまでの治療法から副作用が減ったという点で大きく変わりました。

C型慢性肝炎に対するインターフェロンフリー療法

阻害薬であるアスナプレビル（スンペブラ）とNS5A阻害薬であるダクラタスビル（ダクルインザ®）の組み合わせです。直接C型肝炎ウイルスに作用してウイルスが増殖できないようにします。早い時期にC型肝炎ウイルスを排除できれば著効を得られると言われていますが、インターフェロン治療ではなかなか困難でした。経口2剤を使用することにより、早い時期にヒトの体内から排除してしまいます。投与したほとんどの患者さんで投与後4週間以内に排除されています。最終的な著効率は約90%になると言われています。

DAAの種類には他にNS5Bポリメラーゼ阻害薬があります。ウイルスRNA合成の基質としてNS5Bポリメラーゼにとりこまれ、チェーンターミネーションを起こすことによりウイルスゲノム増殖を阻害するということが分かっています。また1型だけではなく2型に効果があると言われています。1型に対しては今年9月ごろ発売されると言われています。ソホスブビルとNS5A阻害薬であるレピダスビルの2剤が認められます。12週間投与で済み、著効率は約90%になると言われています。それに先行する形でソホスブビルとリバビリンの組み合わせで2型に対して投与が認めら

退職	
内科	齋藤 勝俊
外科	高屋 剛
整形外科	深野木 快士
泌尿器科	高森 大樹
泌尿器科	深尾 理
赴任	
内科	松田俊太郎
内科	三浦 拓
外科	北村 英嗣
整形外科	吉田 尚紀
泌尿器科	永田 豊春

医師異動のお知らせ
さて、4月は人事異動の時期ですが、今年度、市民病院では次のとおり、医師の異動がありましたのでお知らせします。

副作用も約10%肝障害、発熱などがみられるだけです。C型肝炎の治療に新しい時代が来たといつてもいいと思います。まだ治療をしていない方はすぐに受診してください。必ずいい治療法が見つかるはずですよ。

ダクルインザ®+スンペブラ®は串間市民病院でもすでに15名の1型のC型肝炎肝炎の患者さんに使っています。80歳以上の方もおられますし、これまでのインターフェロンで効かなかった方も含まれています。特に、以前インターフェロン治療をされたことのある方は「今度の薬はほとんど副作用がなく非常に楽です」と言われます。以前の治療は必ず入院が必要でしたが今回はすべて外来で済みます。

副作用も約10%肝障害、発熱などがみられるだけです。C型肝炎の治療に新しい時代が来たといつてもいいと思います。まだ治療をしていない方はすぐに受診してください。必ずいい治療法が見つかるはずですよ。



魅力ある福島高校の取り組み

～自ら学び表現力ある福高生～



2年生向けの職業紹介



卒業式 校長式辞



生徒退場



卒業証書授与

卒業式がありました
皆さん、こんにちは。4月に入り、暖かくなってきました。福島高校では、3月1日に卒業式が行われました。今までお世話になった先輩方と接する時間がたくさんあったので、共に過ごしてきた時を思い、涙を流しました。私たちが在校生は、短い時間の中でたくさんの方の事を先輩方から教わりました。先輩方はそれぞれ別々の道を進めますが、福島高校で培った力でどんな困難にもくじけず頑張ってください。私たちが在校生は、先輩方が築き上げてきた伝統を汚さぬように頑張ります。



福島高校新3年生 生徒会長
加藤 呂尚さん

また、2月25日、3月4、5日は高校入試がありました。受験生の皆さんは、一生懸命受験されたことと思います。入学してくる新入生と共に学習していくことが楽しみです。

福島高校の昨年度1年間を振り返って
4月、入学式が始まり、次に歓迎遠足を行いました。6月、生徒総会で過ごしやすい学校づくりについて協議しました。8〜9月には「樹祭」があり、3年生にとっては最高で最大の思い出となったと思います。私たち2年生は11月にインターシップ、12月に修学旅行があり、日頃できないことをたくさん体験でき、みんなで成長することができました。この2つの行事は、私が1年間で一

番印象に残っている行事です。インターシップでは、働く人の大切さや価値を学び、私を育ててくれる両親への感謝の気持ちを忘れないようになりました。修学旅行では、学年全員での協力や絆を深め合い、さらなる福島高生の自覚を強く持つようになりました。

4月から新3年生に
私たち新3年生は高校生活があと1年となり、これからの学校行事の全てに「高校生活最後の」という言葉が付きまします。決して諦めることなく、最後まで必死になって取り組み、一つひとつの事に悔いが残らないようにしていこうと思います。今年も、福島高生への応援をよろしく願います。